

令和5年度(2023年度)当初予算(一般会計)の概要

歳入歳出予算総額：71億800万円

(対前年度3億7,900万円(5.6%)増)

(単位：百万円)

	R1(2019年)	R2(2020年)	R3(2021年)	R4(2022年)	R5(2023年)
当初予算額	6,424	6,313	5,999	6,729	7,108
対前年度伸び率	16.3%	▲1.7%	▲5.0%	12.2%	5.6%

「町制70周年の節目に向けた積極投資予算」

令和5年度当初予算案については、「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」、「次世代に誇れるまち竜王町」づくりを柱とし、第六次総合計画で定めた10年後のあるべき姿「若者も暮らしたい希望かなえる 輝竜の郷 ～心弾む 新時代へのチャレンジ～」を実現するため、限られた財源の中でも、これまでのまちづくりの取組および重点施策プロジェクトの取組を継続しつつ、中心核整備については、最優先事項として、重点的かつ着実に推進します。また、子育て支援や次世代を担う若者の定住等の施策を推進するとともに、令和7年の国スポのスポーツクライミング競技の開催に向けた準備を行う等「町制70周年の節目に向けた積極投資予算」としており、一般会計の歳入歳出予算総額を過去最高規模71億800万円(対前年度5.6%増)としています。

活力あふれるまちづくり ～発展・進化を生み出す豊かさの創造～

1 竜王町中心核「交流・文教ゾーン」整備の本格始動

(1) 新・竜王小学校の建築に向けた造成および新設道路工事等 7億8,495万円

(担当課：中心核整備課)

竜王町コンパクトシティ化構想に基づく中心核整備について、先導的事業である「交流・文教ゾーン」の整備を進めるため、事業地造成・新設道路工事を行うとともに、令和4年度からの繰越しにより竜王小学校の基本設計・実施設計を行います。あわせて、ゾーン内の公園基本設計を行います。

【主なもの】造成工事6億3,734万円、道路工事1億2,678万円

(2) 竜王小学校跡地の居住ゾーン整備に向けた検討 524万円 (担当課：未来創造課)

移転新築後の竜王小学校跡地の活用による居住地の確保に向けた整備方針やコンセプトの検討に着手します。

2 魅力ある地域農業の持続的な発展 (担当課：農業振興課)

(1) 人・農地のみらいを考える「地域計画」の策定および農業振興地域の見直し 835万円

「人・農地プラン」から「地域計画」への移行により、各集落単位での話し合いにおいて、町が定めた竜王町農業振興ビジョンの方向性等の共有を図るとともに、農業振興地域の見直しを行います。

(2) 農業基盤整備に向けた効果予測とマーケティング調査 400 万円

農業経営の効率化や省力化を図るため、大区画化等の基盤整備に向けた効果予測を行うとともに、儲かる農業を実現するため、農産物の顧客ニーズや市場動向の調査を行います。

(3) 畑地かんがい施設の機能診断 1,000 万円

山之上畑地かんがい地区において、パイプラインの老朽化により、施設の機能が低下していることから、計画的かつ適切な手法により長寿命化を図るため、国費を活用して機能保全計画の策定を行います。

(4) 魅力ある「竜王」農畜産物の生産と産地づくり 600 万円

本町の魅力ある農業を推進するため、6次産業化の取組や耕畜連携による稲わら収集の取組等を支援します。

3 交通インフラの整備強化とネットワーク形成

(1) 道路・橋梁の長寿命化と新たな道路開通に向けた準備 1億7,004 万円

(担当課：建設計画課)

巡検橋の修繕工事や町道の舗装修繕等により長寿命化を図ることで、通行の安全を確保します。また、利便性の向上のため、国道8号と接続する新設の町道について用地測量を行います。

【主なもの】道路舗装改良工事 8,480 万円、橋梁耐震修繕工事 3,300 万円、
新設道路測量設計委託料 1,700 万円

(2) 幹線交通と地域内交通の維持・確保 5,306 万円

町外へ移動する際、既存の路線バスの確保のため、運行等に対する補助ならびに子育て支援を目的とした通学定期補助および夜間特別便を継続します。また、町内の各拠点をつなぐ「チョイソコリゅうおう」についても、運行を継続します。さらに、中心核整備による新たな交通体系を含めた移動手段の確保と利便性の向上を図るため、地域公共交通計画を策定（改訂）し、町民の暮らしやすい移動環境づくりを進めます。

【主なもの】チョイソコリゅうおう運行事業 1,149 万円（担当課：未来創造課）
地域公共交通計画改訂 500 万円（担当課：未来創造課）

4 選ばれるまちの実現に向けた魅力発信と新たな産業誘導

(1) まちの魅力発信と定住の促進 1,600 万円

定住人口の獲得を目指すため、町の魅力を内外に発信するシティプロモーションを行います。また、若者定住のための住まい助成を引き続き行います。

【主なもの】シティプロモーション事業 300 万円（担当課：未来創造課）
若者定住住まい補助金 1,300 万円（担当課：建設計画課）

(2) 新たな企業誘致の推進 300 万円（担当課：商工観光課）

地域経済の活性化に向けて名神高速道路竜王インターチェンジ周辺における新たな企業誘致の候補地検討を進めるため、民間開発事業者選定および事業化に向けた課題の整理等に着手します。

安心して暮らせるまちづくり ～次世代に引き継げるやさしさの創造～

1 子ども家庭支援と地域共生社会の実現に向けた包括的支援

(1) 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援 3,960 万円

すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境の整備を進めるため、伴走型相談支援および経済的支援を行うとともに、子どもにとって最善の利益をもたらすことを実現するため、第3期子ども・子育て支援事業計画を策定します。また、小・中学生の医療費無償化を引き続き行います。

【主なもの】 出産・子育て応援交付金 700 万円（担当課：健康推進課）

子ども・子育て支援事業計画策定 300 万円（担当課：健康推進課）

小中学生の医療費無償化 2,960 万円（担当課：住民課）

(2) 地域まるごと包括的支援の推進 7,515 万円

孤立、貧困、疾患等の各世帯の抱える複合的な困りごとに対し、関係機関、地域住民が連携して、受け止め、伴走、解決できるための包括的な総合相談や地域づくりを推進します。

【主なもの】 地域力強化推進事業 1,100 万円（担当課：福祉課）

相談支援事業 460 万円（担当課：自立支援課）

地域子育て支援拠点事業 697 万円（担当課：健康推進課）

2 子どもの生き抜く力を育む魅力ある学校・園づくり（担当課：学校教育課）

(1) 「確かな学力」を育む学校教育の推進 839 万円

子どもの学力把握および学ぶ力の向上を図るため、引き続き町独自施策として総合学力調査を実施するとともに、「徹底反復学習」に取り組みます。さらに、英語教育については、認定こども園、小学校、中学校の系統性を一層重視し、英語に慣れ親しむ機会を拡大するなど更なる充実を図ります。

【主なもの】 英語教育推進事業 604 万円

(2) 教職員が子どもと向き合う時間の確保と地域で支える部活動の推進 1,089 万円

教職員が授業研究や児童生徒と向き合える時間を確保して教育活動を充実させるとともに、教職員の働き方改革の進展を図るため、スクール・サポート・スタッフ、学校支援マネージャー、部活動指導員等の配置や増員により学校の支援体制の充実を図ります。

3 「する・みる・ささえる」豊かなスポーツライフといきいき健康づくりの推進

(1) 第 79 回滋賀国民スポーツ大会開催を契機としたスポーツ拠点の整備とスポーツライミングの普及促進 5,447 万円

令和7年度に開催される滋賀国民スポーツ大会では本町がスポーツライミングの競技会場地となることから、これを契機に芝生広場の拡張等を行い、町民が気軽に運動できる施設として利用促進を図ります。また、大会開催に向けて国民スポーツ大会実行委員会の運営を行うとともに、ドラゴンボルダリングジムを活用した普及啓発と大会への機運醸成や竜王町クライミングアンバサダー（広報大使）による魅力発信に加え、滋賀国スポ大会への出場を目指す地元出身選手の育成強化を行います。

【主なもの】 総合運動公園整備工事 5,200 万円（担当課：建設計画課）

国民スポーツ大会実行委員会負担金 190 万円（担当課：生涯学習課）

(2) いきいき健康づくりと新たなりゅうおう健康プランの策定 430 万円

(担当課：健康推進課)

健康課題である糖尿病および高血圧症などの予防のため、健康いきいき竜王 21 プランに基づき、地域や関係機関と協働して取り組み、高齢者のやりがい創造や健康寿命の延伸を図ります。また、令和 4 年度の基礎調査を踏まえて健康増進計画・食育増進計画・自殺対策計画を包括した新たなプランを策定します。

【主なもの】りゅうおう健康プラン策定 308 万円

4 自然災害への備えと地域防災力の向上

(1) 農業用ため池の災害リスク低減 1,800 万円 (担当課：農業振興課)

近年の地震・豪雨等によりため池が決壊し、下流域の人家等に大きな被害をもたらす事例が頻発していることから、地震に対するため池の耐震性能の診断を行うとともに、土砂流出防止および貯水容量を確保するため浚渫工事を行います。

(2) 地域防災力の強化に向けた消防設備の充実 808 万円 (担当課：生活安全課)

大きな災害の発生に備えて地域防災力の強化を図るため、消防ポンプ車庫の整備に係る実施設計および小型動力ポンプの整備を行います。

5 カーボンニュートラルとバイオマス資源の地域内循環

(1) 環境基本計画および地球温暖化対策実行計画の策定 300 万円 (担当課：生活安全課)

2050 年度までに温室効果ガス排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」に向け、令和 4 年度の基礎調査を踏まえて、竜王町環境基本計画の改訂と新たな地球温暖化対策実行計画を策定します。

(2) 耕・畜・工連携によるバイオマス資源の活用に向けた調査 300 万円

(担当課：農業振興課)

竜王町バイオマス産業都市構想に基づく耕・畜・工の連携によるバイオマス資源の地域内循環を実現するため、近江牛の排せつ物等を活用したメタン発酵バイオ液肥・堆肥の分析等および先進地の事例調査を行います。

みんなで進めるまちづくり ～新たな時代に対応したつながりの創造～

1 地域の元気づくりとコミュニティの活性化

(1) ふるさと竜王夏まつりと第 40 回記念竜王町文化祭等の開催 540 万円

ウィズコロナ時代や参加者ニーズに沿った新たな形での実施を検討したうえで、地域に活力があふれ、にぎわいが戻るような「夏まつり」、「文化祭」、「スポーツイベント」を開催します。

【主なもの】ふるさと竜王夏まつり 375 万円 (担当課：商工観光課)

第 40 回記念竜王町文化祭 150 万円 (担当課：公民館)

(2) 自治会活動への支援と地域コミュニティの活性化 4,136 万円

地域住民の自主性および協調性の向上ならびに個性的で魅力ある地域の形成と協働によるまちづくり意識の向上を図るため、自治会が行う事業に対し助成を行います。また、地域コミュニティの維持・活性化の取組を行います。

【主なもの】未来へつなぐまちづくり交付金 1,605 万円 (担当課：総務課)

コミュニティ助成事業 2,400 万円 (担当課：総務課)

2 デジタル田園都市国家構想の実現に向けたDXの推進

(1) 行政手続のオンライン化・事務のデジタル化 1,319万円

若い世代の新規受診者の増加を図るため、検診（健診）のWEB予約システム導入をするとともに、測量成果物等の電子データ化を行い、町民サービスの向上および業務負担の軽減を図ります。

【主なもの】WEB検診予約システム整備178万円（担当課：健康推進課）

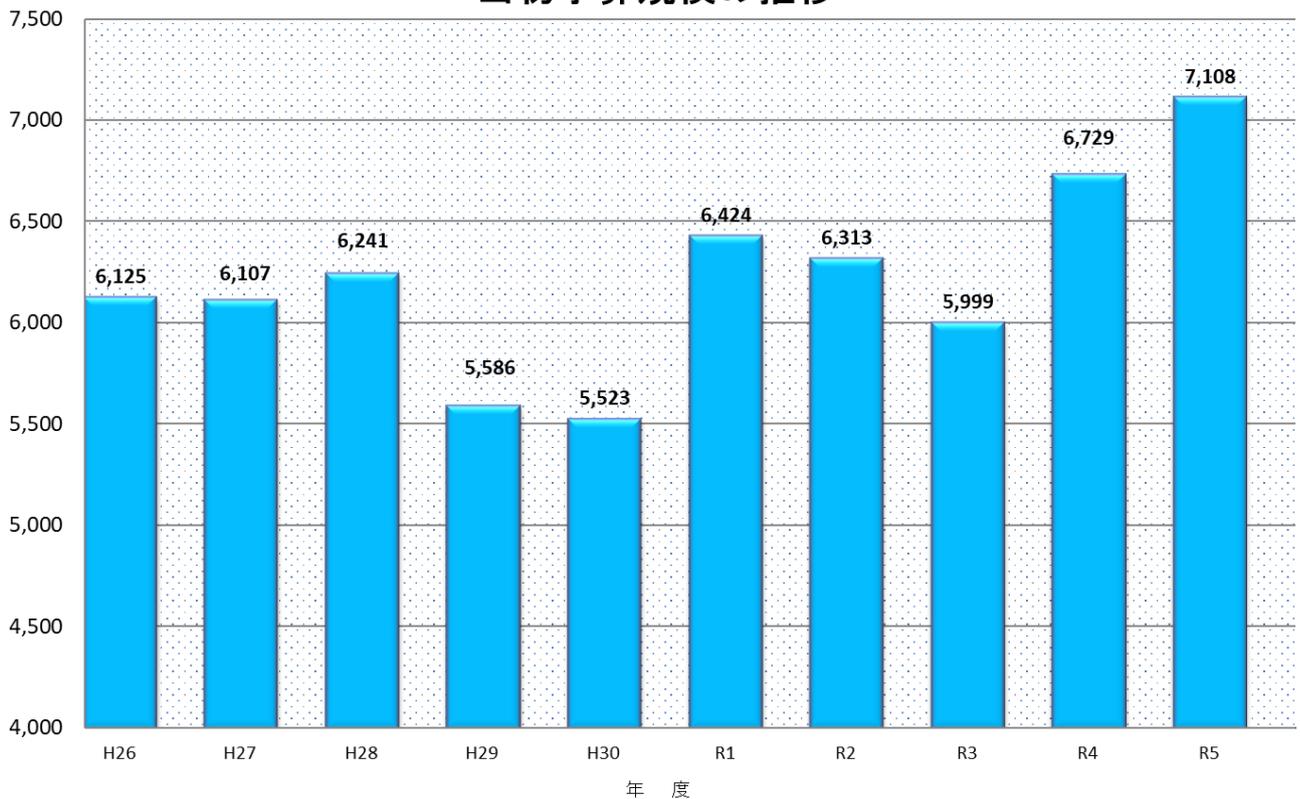
土地改良事業確定測量データ整備1,000万円（担当課：農業振興課）

(2) 議会のICT化推進 460万円（担当課：議会事務局）

タブレット端末およびペーパーレス会議システムを導入することにより、議会運営の効率化および迅速化を図り、これにより開かれた議会を目指します。

歳入においては、町税を 34 億 8,881 万円、対前年度 372 万円 (0.1%) の減とし、令和 4 年度当初予算と同程度を見込んでいます。これは、町税のうち固定資産税については滋賀竜王工業団地の操業開始による増額が見込まれるが、法人町民税について引き続き新型コロナウイルス感染症等の影響に鑑み 5,500 万円の減としました。なお、地方交付税 (普通交付税) については令和 4 年度に引き続き不交付となる見込みです。このような状況において、依然として厳しい財政状況であることに変わりはなく、歳出削減および歳入確保に努めてもなお不足する所要の財源のため、財政調整基金から 3 億 7,236 万円を、また、竜王町コンパクトシティ化構想に基づく竜王小学校移転新築事業に対しては竜王小学校改築基金から 3,500 万円を取り崩すこととしました。

当初予算規模の推移

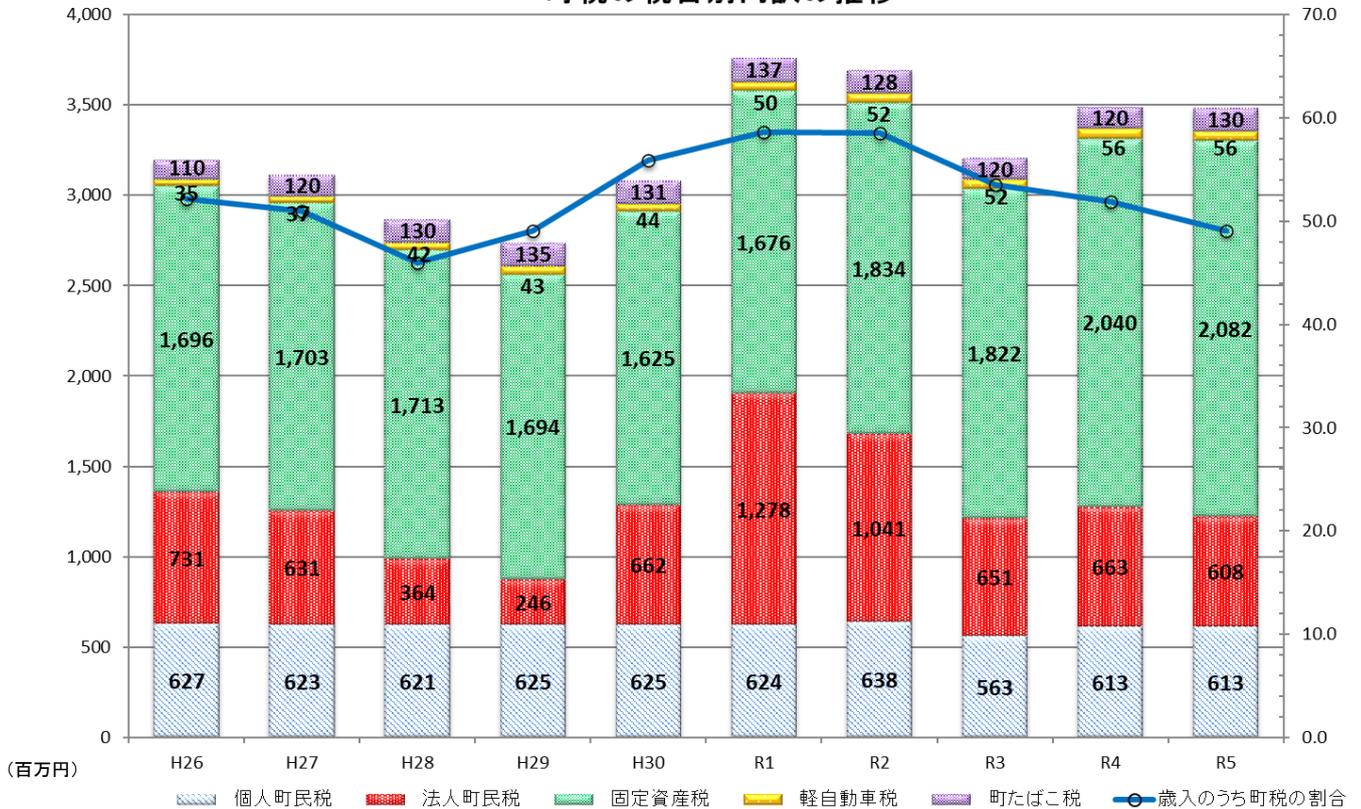


[歳入]

町税 34 億 8,881 万円 (372 万円、0.1%減)

固定資産税については、滋賀竜王工業団地の操業開始による増額が見込まれますが、法人町民税について引き続き新型コロナウイルス感染症等の影響に鑑み 5,500 万円の減としました。

町税の税目別内訳の推移



法人事業税交付金 1 億 2,000 万円 (対前年度増減なし)

地方法人特別税・譲与税制度の廃止に伴う法人町民税法人税割の減収分の補てん措置として、法人事業税の一部が県から交付されるものです。

地方交付税 3,000 万円 (対前年度増減なし)

普通交付税について、令和 3 年度は交付となったものの、令和 4 年度は固定資産税の増額等により不交付となりました。令和 5 年度は法人町民税等の減収が見込まれるものの引き続き不交付となる見込みです。なお、特別交付税は令和 4 年度と同額の 3,000 万円を計上しました。

国庫支出金 6 億 4,817 万円 (5,429 万円、7.7%減)

道路橋梁整備に係る社会資本整備総合交付金 2,025 万円、戸籍情報等システム整備に係る社会保障・税番号制度システム整備費補助金 1,067 万円の増を見込む一方で、西幼稚園跡施設の改修工事の完了に係る子ども子育て支援整備交付金 4,776 万円、中心核整備に係る社会資本整備総合交付金 3,052 万円の減としました。

県支出金 5 億 2,813 万円 (4,455 万円、9.2%増)

参議院議員通常選挙および知事選挙費に係る委託金 2,065 万円、子ども子育て支援整備交付金 478 万円の減を見込む一方で、農業用ため池の耐震調査および浚渫工事に係る農地防災事業補助

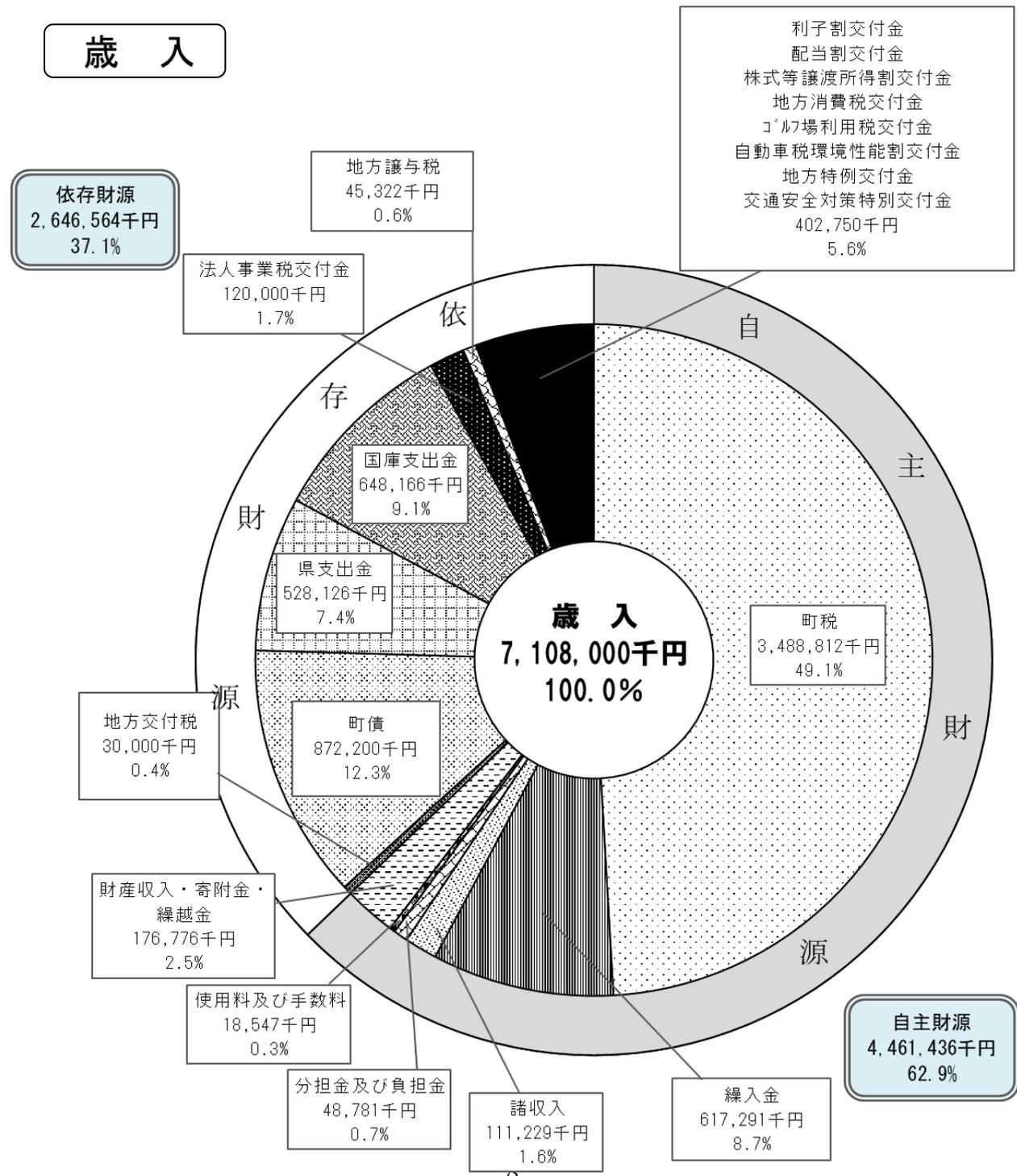
金 1,544 万円、農業水利施設の機能保全計画の策定および土地改良事業確定測量データ整備に係る農業水利施設保全合理化事業補助金 1,500 万円、農業水利施設の電気料金高騰に係る基幹水利施設管理事業補助金 1,028 万円および水利施設管理強化事業補助金 441 万円、県議会議員選挙に係る委託金 752 万円、重層的支援体制整備事業費補助金 570 万円の増としました。

繰入金 6 億 1,729 万円 (571 万円、0.9%増)

竜王町立竜王小学校改築基金繰入金 2,500 万円の減を見込む一方で、財政調整基金繰入金 2,740 万円、未来につなぐふるさと交龍基金繰入金 505 万円の増としました。

町債 8 億 7,220 万円 (3 億 5,320 万円、68.1%増)

旧医科診療所解体工事に係る町債 430 万円の減を見込む一方で、中心核整備に係る町債 2 億 60 万円、国営日野川土地改良事業負担金に係る町債 6,210 万円、南部地区防災センター解体工事に係る町債 6,000 万円についての増としました。



[歳出]

《目的別》

議会費 8,043万円（553万円、7.4%増）

タブレット端末およびペーパーレス会議システムの導入により増加しました。

総務費 18億2,914万円（2億2,394万円、14.0%増）

中心核整備に係る用地取得費、交流・文教ゾーン造成等実施設計業務委託料の完了等により減少したものの、中心核整備に係る交流・文教ゾーン造成および道路工事等が増加しました。

民生費 17億2,810万円（4,987万円、2.8%減）

保育所運営費、自立支援給付費等が増加したものの、西幼稚園跡施設の改修工事の完了等により減少しました。

衛生費 4億9,007万円（445万円、0.9%増）

旧医科診療所解体等工事設計業務委託料、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る経費等が減少したものの、水道事業に係る一般会計繰出金、中部清掃負担組合負担金、出産・子育て応援交付金等が増加しました。

農林水産業費 5億1,884万円（2億2,376万円、75.8%増）

鏡山林道における治山工事等が減少したものの、国営日野川地区土地改良事業負担金、下水道事業（農業集落排水）に係る一般会計繰出金、日野川用水施設管理協議会負担金、ため池詳細調査（耐震）業務委託料、農業水利施設の機能保全計画策定業務委託料等が増加しました。

商工費 7,464万円（1,481万円、16.6%減）

ふるさと竜王夏まつり実行委員会補助金等が増加したものの、産業振興奨励金等が減少しました。

土木費 6億7,249万円（3,989万円、6.3%増）

下水道事業（公共下水道）に係る一般会計繰出金、耐震改修促進計画（変更）策定業務委託料等が減少したものの、町道道路改良・舗装他工事、総合運動公園指定管理料等が増加しました。

消防費 3億5,849万円（9,677万円、37.0%増）

高速道路自動車国道救急業務支弁金等が減少したものの、南部地区防災センター解体撤去工事、東近江行政組合消防負担金等が増加しました。

教育費 8億1,552万円（1億4,478万円、15.1%減）

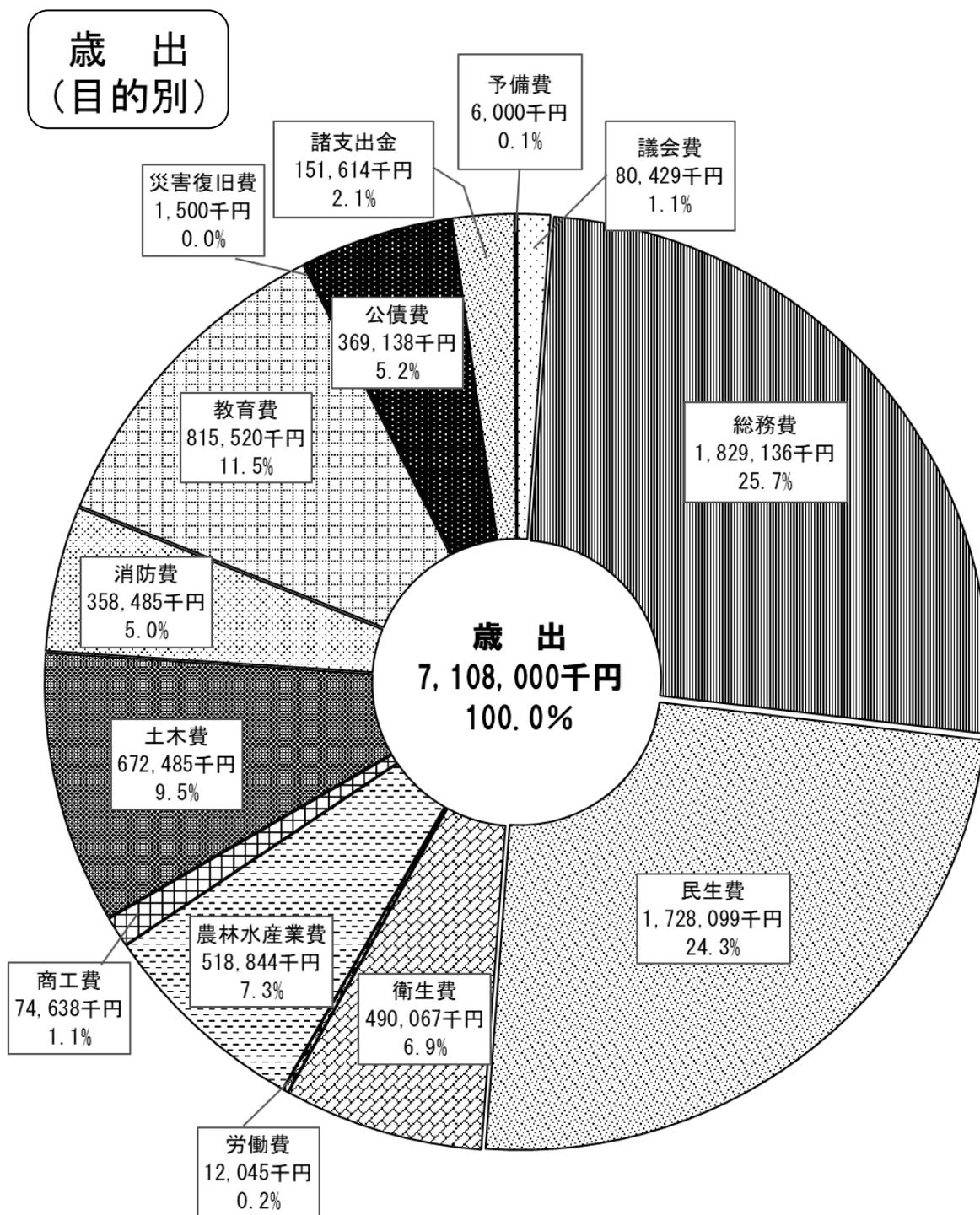
文化財保存事業補助金、埋蔵文化財発掘調査作業員派遣業務委託料等が増加したものの、竜王小学校建築設計業務委託料等が減少しました。

公債費 3億6,914万円（529万円、1.4%減）

償還元金が減少しました。

諸支出金 1億5,161万円（41万円、0.3%減）

財政調整基金積立金等が減少しました。



《性質別》

人件費 15億9178万円（3,883万円、2.5%増）

会計年度任用職員報酬（パートタイム）等が増加しました。

物件費 11億6,627万円（1億6,455万円、12.4%減）

総合運動公園指定管理料、総合庁舎1階事務室等改修工事設計業務委託料、埋蔵文化財発掘調査作業員派遣業務委託料等が増加したものの、竜王小学校建築設計業務委託料、交流・文教ゾーン造成等実施設計業務委託料等が減少しました。

扶助費 9億2,509万円（3,024万円、3.4%増）

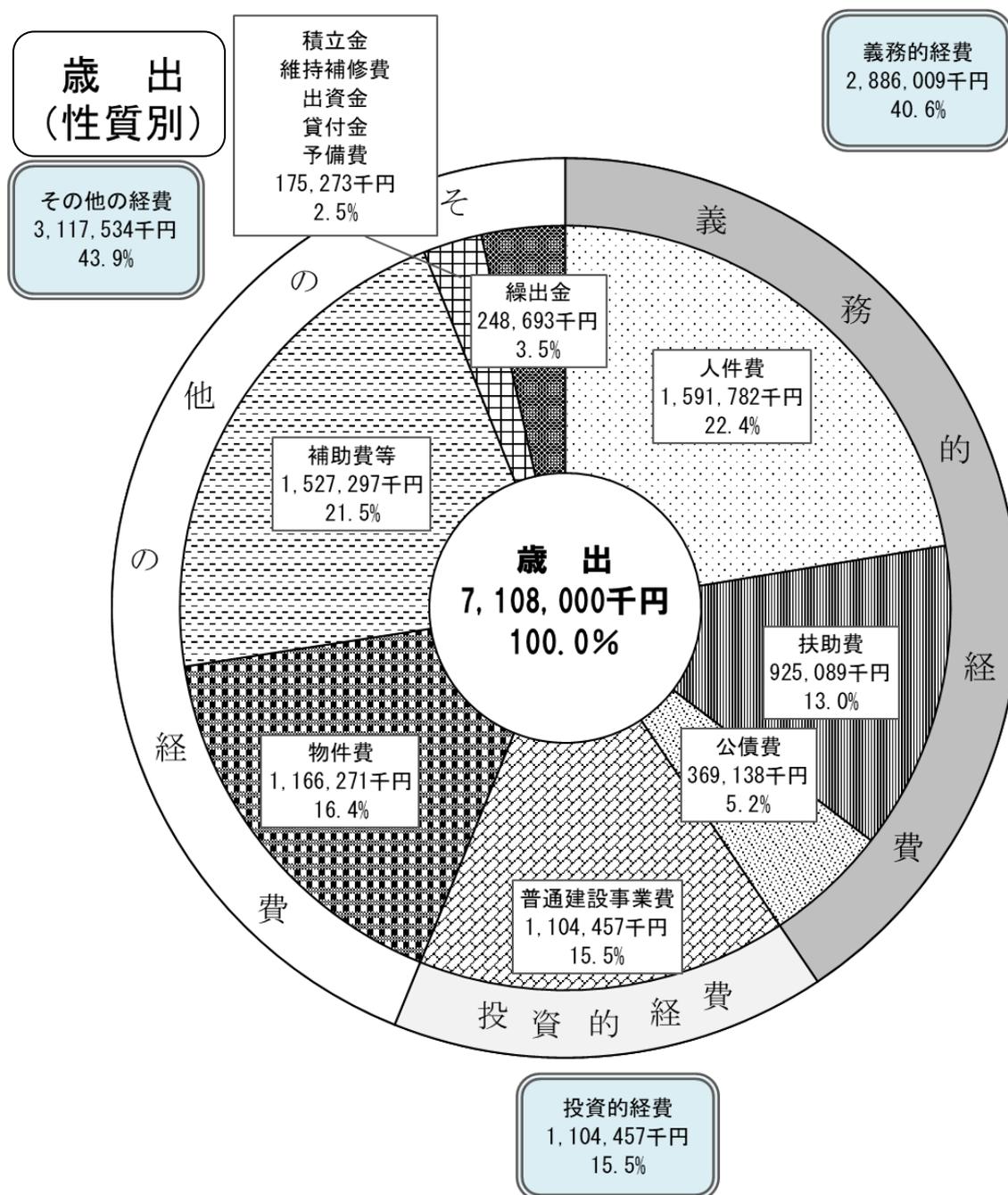
児童手当等が減少したものの、保育所運営費、自立支援給付費が増加しました。

補助費等 15億2,730万円（2億1,262万円、16.2%増）

下水道事業（公共下水道）に係る一般会計繰出金、産業振興奨励金、自治会館整備事業補助金等が減少したものの、国営日野川地区土地改良事業負担金、下水道事業（農業集落排水）に係る一般会計繰出金等が増加しました。

普通建設事業費 11億446万円（2億5,872万円、30.6%増）

中心核整備に係る用地取得費、学童保育所設置に係る西幼稚園跡施設の改修工事の完了等により減少したものの、中心核整備に係る交流・文教ゾーンの造成および道路工事、南部地区防災センター解体撤去工事等により増加しました。

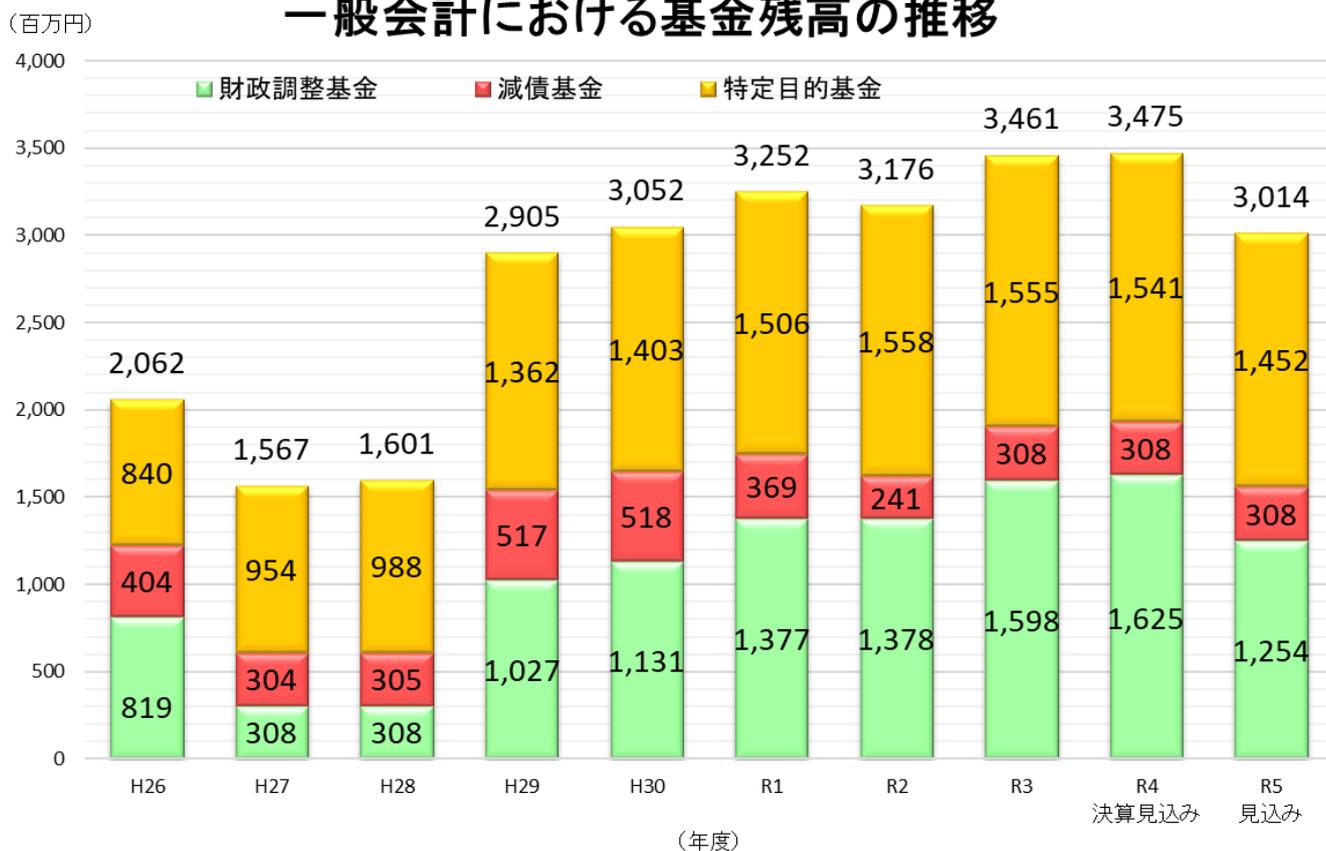


[基金残高見込]

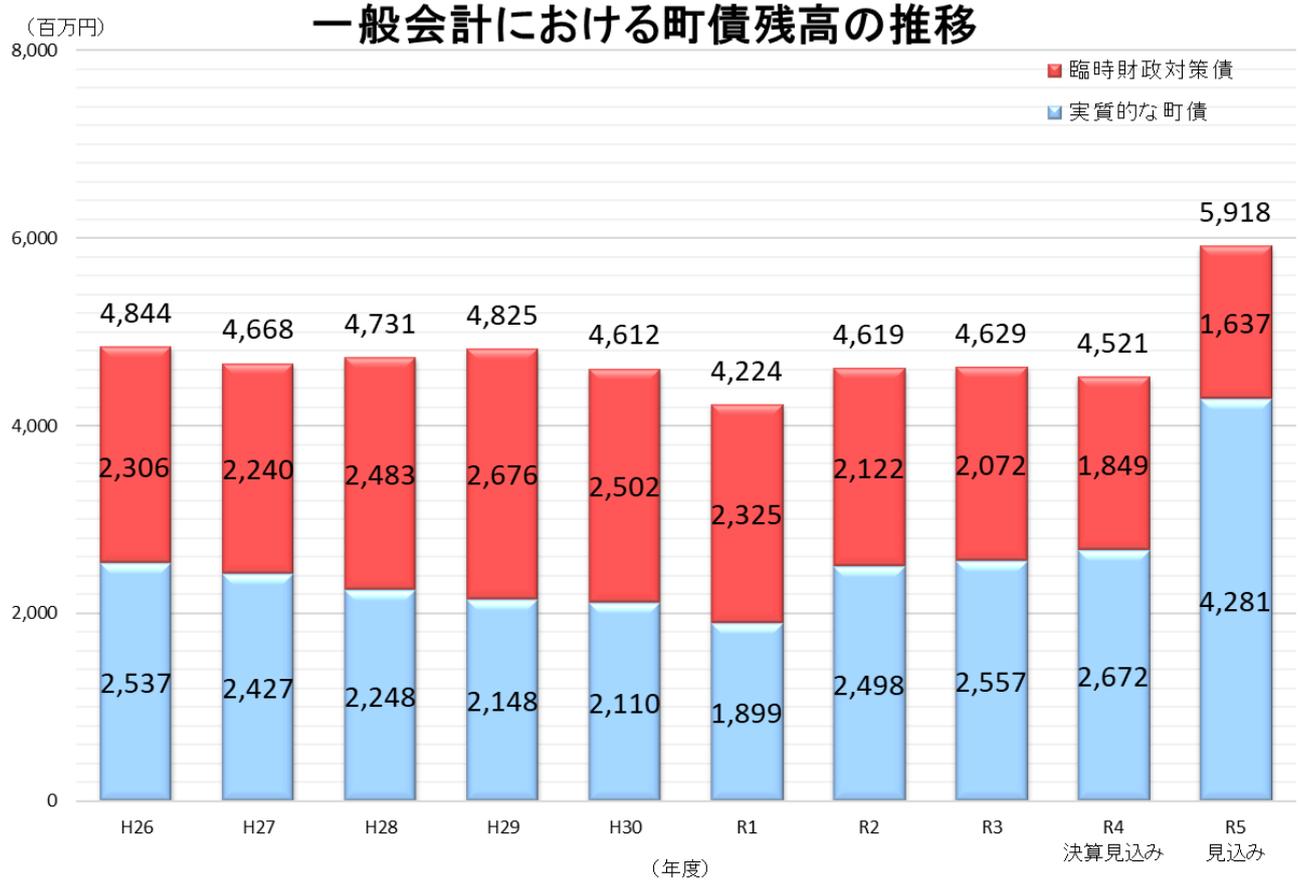
令和4年度一般会計予算は、町税のうち法人町民税収については当初の想定より減収が見込まれる一方で、固定資産税については法人町民税収の減収幅を大きく上回る増収が見込まれることから、財源不足分として計上していた財政調整基金の繰入れを取りやめ、同基金へ2,700万円の積立てを予定しています。

令和5年度一般会計当初予算案については、中心核整備等に伴い財源需要が増加すること、また、普通交付税が交付されない見込みであるため同基金から3億7,200万円を取り崩すこととしています。これにより、令和5年度末で同基金の残高は12億5,400万円程度になる見込みです。また、その他の特目基金について様々な行政課題に対応するため2億4,000万円の繰入れを予定しています。なお、未来につなぐふるさと交産寄附金に1億5,000万円の積立てを予定しており、令和5年度末のその他特目基金の残高は14億5,200万円程度になる見込みです。

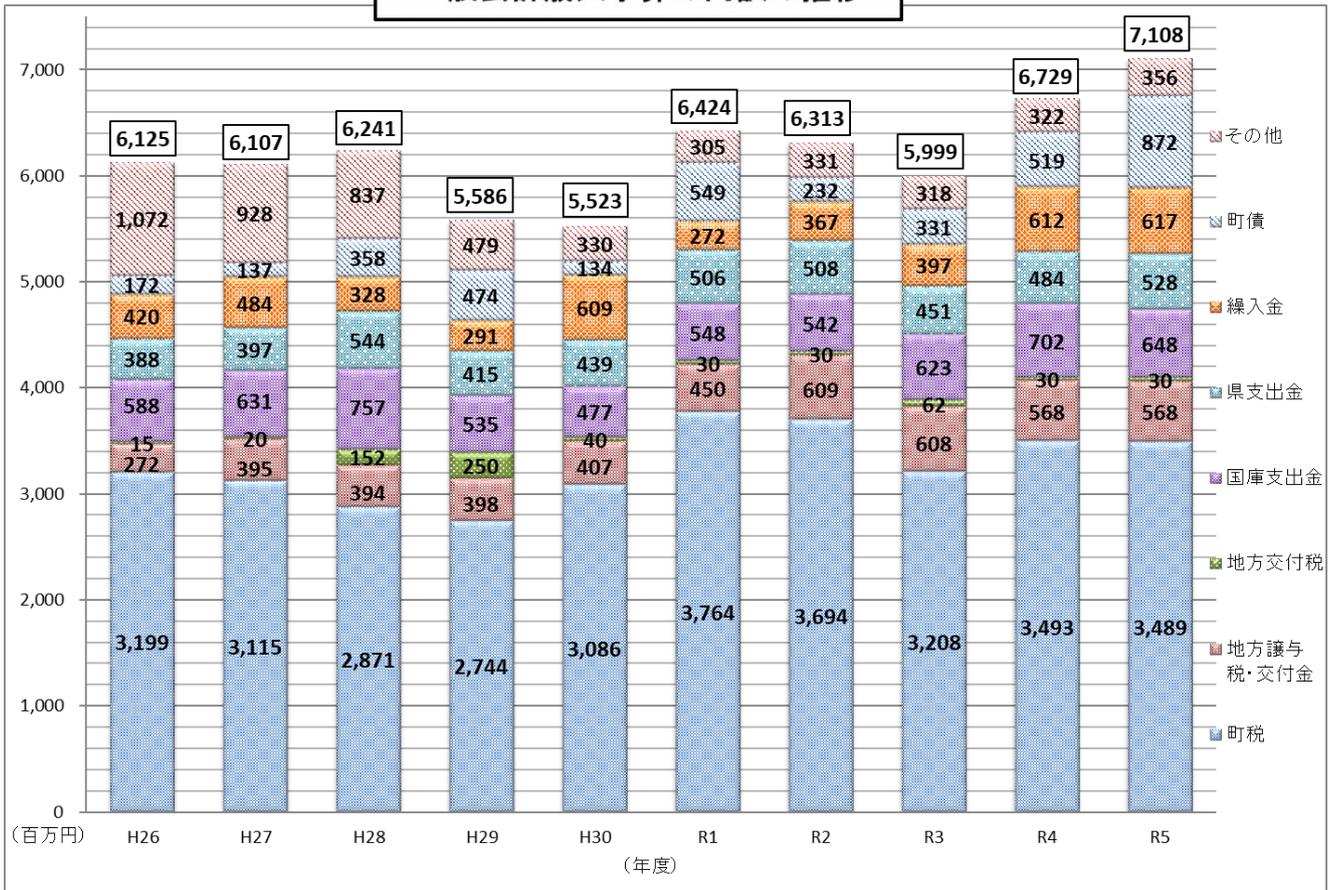
一般会計における基金残高の推移



町債発行額は、8億7,220万円で前年度当初予算と比べると3億5,320万円（68.1%）の増と
 ています。この主な要因は、竜王町コンパクトシティ化構想に基づく中心核整備に係る造成およ
 び新設道路工事等の事業の本格化により増加するものです。令和5年度末の町債残高は、59億2,0
 00万円で対前年度30.9%増となる見込みです。これは令和5年度中に町債を発行する分と、国の
 補正予算を含めた令和4年度からの繰越事業の追加発行分の増額を見込むものです。



一般会計歳入予算の内訳の推移



一般会計歳出予算の内訳の推移

